

一球通信 vol 148

*****コンテンツ*****

1. 第84回 旧三商大戦 レポート
2. 広島商業高校甲子園出場 観戦記
 - (1) S56卒 坂本雅昭様
 - (2) S51卒 飯島富士夫様
3. 広商交流50周年企画
 - 〔1〕プレーバック交流史
 - (1) S54卒 新悟様
 - (2) 広商OB 本川肇様

1. 第84回 旧三商大戦 レポート

8月21日(水)、今年は横浜スタジアムにて三商大戦が行われました。来年の東京オリンピックを考慮し、順番を変更したため1年ぶりの東京開催となりました。天候にも恵まれ計3試合を実施することができました。簡単ではございますが当日の様子をお伝え致します。

第一試合 神戸大学 v s 一橋大学

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
神戸大	0	2	0	0	2	0	0	0	0	4
一橋大	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

【投】佐藤 (9回)

〔二〕大北

2回、フライや捕殺により2アウトとするも、連続ヒット等で3アウト目がなかなかとれず。2点を先制されます。さらに5回、連続ヒットとエラーが絡み2点を追加されます。一方6回、大北がライトへのツーベースヒット、酒井が内野安打で出塁し2死一・三塁とすると阿佐美がセンターへのタイムリーヒットを放ち1点を返します!!
しかし挽回叶わずそのまま試合終了 4-1で神戸大学の勝利となりました。

第三試合 大阪市立大学 v s 一橋大学

	1	2	3	4	5	6	7	R
大市大	2	0	0	0	7	0	0	9
一橋大	0	1	0	0	2	0	1	4

(大会規定により時間に達したため7回をもって試合終了)

【投】鈴木 (4 2 / 3回) → 笠松 (2 1 / 3回)

〔本〕阿佐美 (2回 ソロ)

〔二〕富澤

先制を許すも、2回阿佐美がレフトスタンドへのソロホームラン!1点を返します。5回には連続ヒットや四球により一挙7点を失います。同回裏、4者連続ヒット等で2点を返します。さらに7回にも連打で繋ぎ一点を返したものの、大会規定の2時間に達したためここで試合終了。9-4で大阪市立大学の勝利となりました。

大阪市立大 vs 神戸大の第二試合は 6-1 で市立大の勝利となったため、第 84 回旧三商大戦は大阪市立大学の優勝となりました。

また、一橋大MBPには、神戸大学との試合にてスタンドに飛び込みながらもファールフライをアウトにした4年飯坂一樹が選出されました。

来年度三商戦は神戸大学主催となります。

会場まで足を運んでくださった皆様、ご声援ありがとうございました。



(下段左：阿佐美 右：飯坂)

2. 広島商業高校甲子園出場 観戦記

甲子園応援記

昭和 56 年経済学部卒業
坂本雅昭

8 月 10 日第三試合対岡山学芸館戦を応援してきました。

広商の甲子園での試合の応援は昭和 63 年夏の三回戦対日大一高戦以来で、このときは畠山先生にアルプスでお会いし、ご挨拶させていただきました。「優勝を期待しています」「いやあ、優勝できるようなチームではないんよ」と仰っていましたが、見事に全国制覇。今回はそれ以来で、私と最もご縁の深い広商 78 期の東久保マネージャー(現ひろぎん証券)と甲子園で落ち合い、アルプス席でご一緒させていただきました。

広商 78 期の夏の甲子園は三回戦で牛島(横浜ベイスターズ監督)・香川(福岡ダイエーホークス)を擁する浪商に敗退するも、二回戦で現オリックスの高山投手コーチの秋田商業を破っています。当時を懐かしみながらの応援でした。

6 回裏、オーバーランの打者走者をアウトにしたり、7 回裏の一死一三塁で二遊間の見事な連携で併殺をとったり、広商らしさを随所に見せてくれ、試合は勝てる流れでありましたが残念ながら惜敗。継投がうまくいかなかったことはさておき、惜しまれるのは、最終回二死一二塁で相手三塁手がサードベースから相当離れて深く守っており、二塁走者を無警戒であったのに第二リードも小さく、三盗の気配がなかったこと。「もし、二塁走者が 78 期主将で現カープ二軍守備走塁コーチの永田君だったら簡単に三盗をきめている。走ればキャッチャーの悪送球もあり、昭和 48 年選抜準決勝で江川の作新学院を重盗とキャッチャーの三塁悪送球で破ったあの場面の再現も期待できた」などと試合後話をしました。また 8 回裏に風に乗ったレフトオーバーの二塁打で逆転されましたが、レフトはこの春からコンバートされたばかりの選手であり、「もし、レフトが 78 期センターの南崎君(元 J R 西日本野球部監督 畠山先生によれば柳田ブレイク前では広商ナンバー1 のセンター)だったら追いついて好捕していたかもしれない」などと 78 期の現役時を懐かしみながら試合後、残念ながらりました。

今回は残念な結果となりましたが、今後も広商 OB の方々と甲子園でともに応援できる日を楽しみにしています。また、荒谷監督、赤沢部長以下一丸となってあらたな広商の歴史を築いてくれることを期待しています。



*スコアボードの旗が示すように強い浜風も影響しました



*試合終了。お疲れ様でした。ありがとうございました。

「甲子園広商戦を観戦して」

令和元年 8 月

飯島富士夫(昭和 51 年卒)

◆広商の初戦・岡山学芸館戦を応援してきました。

8 月 10 日の岡山学芸館戦を応援してきました。待ちに待った甲子園出場で、現役時代に一緒にプレーした関西在住の野球部OB数人を誘ってアルプスの広商応援席で観戦しました。10 日の土曜日はお盆休みの帰省のピークで、朝早くに東京駅で並んで新幹線「ひかり」の自由席を確保して日帰りでの応援となりました。

一緒に応援したメンバーは、笥さん(49 年卒) 深堀さん(51 年) 伴野さん(52 年) 三木さん(53 年) の 4 人で、それぞれ万全の熱中症対策をしてきましたが日陰のない 3 塁側アルプスは相当堪えました。時折吹く浜風に救われ、居酒屋での生ビールで生き返りました。

試合は残念ながら惜敗でしたが、判断力が素晴らしい内野守備、鍛えられた内外野の連携、一球で決める完璧なバント・スクイズなど広商野球を堪能させてもらいました。最後のレフトフライは目の前でしたが、浜風に乗って相当伸びて捕れませんでした。残念です。



左から、笥(49 年) 飯島(51 年) 伴野(52 年) 深堀(51 年) 三木(53 年) *敬称略

◆大北主将・粟主務も応援に駆けつけて

現役を代表して大北主将と粟主務が日帰りでの応援に駆けつけてくれました。飯島と 3 人で広商野球倶楽部の浜中会長に挨拶に行きましたが、アルプススタンドとは別の場所で観戦していたためお会いできませんでした。広商野球倶楽部の関係者の方に挨拶し、その後は

アルプスの応援団の後方で精一杯応援しました。



(左から 粟主務 大北主将)

◆ 広商との交流 50 周年を迎え

今年には広商野球部との交流 50 年の記念の年であり、広商の 15 年ぶりの甲子園出場は両校にとって素晴らしいビックニュースとなりました。結果は残念でしたが、広商野球健在を全国にアピールできたと思います。我が野球部も広商の活躍に負けない様、秋季リーグ後に 3 部復帰を果たし交流 50 周年を良い年にしましょう。

以上

3. 広商交流 50 周年企画

.....

プレーバック交流史

- (1) 新悟様 (S54 卒)
- (2) 本川肇様 (広商OB)

.....

【プレイバック交流史・一橋新さん広商野球部 100 年史寄稿】

「人生の財産となる交流」

新 悟



(昭和54年一橋大学経済学部卒
駒場東邦高校出身)就職先：丸紅㈱
現在：新光産業㈱勤務

(当時<昭和52年冬>の広商野球部
：畠山部長、桑原監督、安藤主将)

昭和52年の冬、年末年始の1ヶ月余りの間は、私にとって大変思い出深い日々となった。昼は広商で野球の練習をさせて戴き、夜は

宿泊先である広商野球部3年本川肇君の受験勉強のお手伝いをする事となったのである。安芸長束で果物店を営む本川家は、穏やかで優しいお父様、明るく面倒見の良いお母様、律儀で真面目な肇君、そして明るく礼儀正しい当時高一の浩司君の4人家族で、私は滞在中恐縮する程細かな心配りで面倒を見て戴いた。昼は学校で野球の練習と、終了後2年生を対象とした英語の授業を行い、夜は肇君の勉強のお手伝いをしていった。肇君の志望は立命館大学で、私も何とか合格してもらいたいと思って、受験上の心構えも含めて

精一杯の応援をさせて頂いた。肇君も良くこれに応えてくれ一生懸命勉強していたが、一度だけ疲れて宿題をやっていなかった時、若気の至りで説教をしたことを思い出す。今となると恥ずかしい限りだが、肇君は素直に聞いてくれ、努力していった。私の力は万分の一もなかったであろうが、本人から合格の知らせを聞いた時、自分の受験の時と同様、嬉しいというよりもほっとしたことを思い出す。学生で味も良くわからぬのに、私はフグまでご馳走になり(実はその日は練習後2年生達とお好み焼きを食べた帰りで、内心ちよっぴりあせったが)、本川家から受けたご恩は一生忘れられないものとなっている。その後肇君の結婚式に出席したり、肇君の東京三越果物部勤務時代には、私の父の会社で取引先への届物をささやかながらお願いしたりして、現在も本川家全員の方と親戚同様のお付き合いをさせて頂いている。

畠山先生並びに本川家を始めとする広商の方々との交流は、一橋大学野球部及び私にとって貴重な財産であり、改めてここに厚く御礼を申し上げます。(新 記)

【プレイバック交流史・広商本川さん一橋野球部75年史寄稿】

かけがえのない財産

昭和五十二年広島商業高校野球部マネージャー
昭和五十七年立命館大学経営学部卒業
現在（株）バオ勤務 本川 肇

「なにやってるの！やる気がないなら受験なんてやめてしまえ！」今振り返れば大変失礼な事をしたなと思います。
叱咤激励の声の主は新 悟さん。

大袈裟と思われるかも知りませんが、「あの時の」新さんなくして今の私は存在しえません。

昭和五十二年冬、一橋大学・広島商業高校の交流の縁あつて、一ヶ月に渡り新さんに勉強の仕方を教わりました。「広島野球部員である前に広商生であれ！」をモットーに私自身頑張ってきたつもりではありますが、受験競争の世界は想像を絶するものでありました。英語・世界史・国語など新さんから教わるたびに壁が高くなってくるようでした。時には厳しく、時にはやさしく、親身になってご指導下さる姿勢に胸打たれながらも、私自身頑張らねばと思う反面もう駄目だと心が揺れ動いた十八才の冬でした。

年が明けて昭和五十三年、新さんが帰京されてからも『何かわからない事は？』『何か困っている事は？』と気にかけていただき私の心の支えとなつて下さいました。そして二月、『新さん行ってきます』と気持ちだけは一人前に「京都へ出発。しかし一つ目の試験は、試験問題を眺めているうちに発熱し医局へ直行。プレッシャーに弱い自分を再発見しました。高校二年の夏と三年の夏、幸運にも体験させていただいた精神統一・腹式呼吸や刀の刃渡り。これらはいったい何だったのだろうか？

翌日二つ目の試験。聞き直りの精神？悟りの境地？のお陰か発熱もせず何とか試験を終了。変な解放感があつたのを覚えています。

ルルルルルン・ルルルルルン

「はい新です」

「広島の本川です。京都へ行けることになりました。」

「よかったね。よくがんばったね。」

ドラマはないですが、受話器を持ちながら次の言葉が見つかりませんでした。後日新さんから合格祝いと卒業祝いにとモンブランの万年筆が届きました。今でも私の宝物です。

昭和五十七年の春、東京で社会人のスタートを切りました。その当時の新さんはメキシコで勤務という状況。北区赤羽の安アパートで二十二歳の独身男性の一人住まい。住環境・食生活はご想像にお任せしますが、ある時女性の声で「新です」「っっっっ」。一瞬沈黙の後「お元気ですか？」やさしい声。新さんのお母様からの電話でした。「二度お食事でも」と天の声がかかり、いざ新宿へ。その席には新さんのお父様・お母様・妹さんの三人。お父様の新日出雄様とは初めてお目にかかったわけですが、緊張の中にも普段食べることの出来ない御馳走が目の前に並ぶにつれ我を忘れて食べさせていただき大変助かった事、今でも感謝しております。その後、新さんが業務都合でメキシコへ赴任されている際、当地からのお手紙・お土産を頂戴した事、お父様の会社「新光産業株式会社創立二十周年パーティー」にご招待いただいた事、残念ながらお伺い出来ませんでした。新さんのご結婚披露宴のご案内をいただいた事、私の披露宴にお越しいただいた事、昨年私の仕事でお力を貸していただいた事など、一橋大学・広島商業での交流をきっかけに二十四年間経った今でも親しくお付き合いをさせていただいている事。

これが私の「かけがえのない財産」です。

最後になりましたが、二〇〇〇年には一橋大学硬式野球部様が再創立七十五周年を迎えられ誠におめでとうございます。関係者ご一同様の益々のご発展を心よりお祈りすると共に、諸陸先輩方が大切に育てて来られた「一橋大学・広島商業の交流の輪が更に深まって、現役部員の皆様には「かけがえのない財産」を築かれるようお願いしたいと思います。

今月も一球通信を最後までご覧頂きありがとうございます。今年度、一球通信にて特集を組んでいる広島商業高校が甲子園に出場し、部員一同テレビやスマートフォンにて熱く応援をしました。残念ながら1回戦敗退となりましたが、交流のある選手たちが活躍したことは弊部の励みになりました。我々も高校球児に負けぬよう、今後の練習に励みたいと思います。

さて、早いもので夏も終わり、いよいよ秋リーグとなります。4年生の最後となるこのシーズン。4年だけでなく下級生もこの秋に対する思い入れは強いと感じます。現3年がいないマネージャーにとっても上級生とともに迎える最後のシーズンです。必ず3部復帰を果たせるよう、日々の練習時間を大切にしていきたいと思います。OBの皆様には日々温かいお言葉を賜っておりますが、今後もお指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

一橋大学硬式野球部

2年マネージャー 浅川彩音

一橋大学硬式野球部公式ホームページはこちら↓

<http://jfn.josuikai.net/circles/sports/hit-u-bbc/>

↓ご意見・ご要望・配信停止等のご連絡等はこちらまで↓

hit.u.bbc.mg@gmail.com